

遮光資材の効果比較試験



5月17日撮影(クリンテートSK)



8月20日撮影(クリンテートSK)

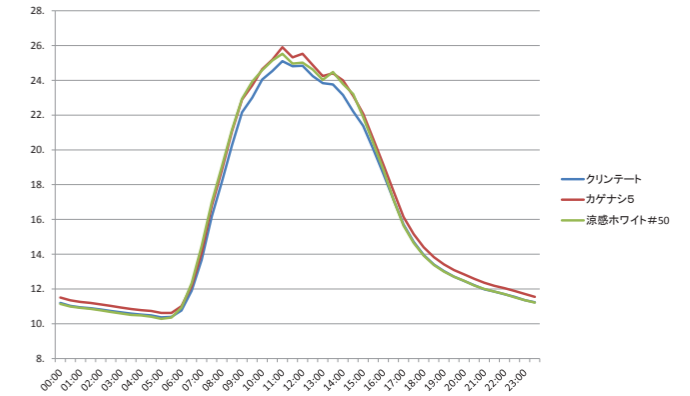


5月17日写真(カゲナシ5)



8月20日撮影(カゲナシ5)

クリンテートSK、カゲナシ5、涼感ホワイト#30の温度比較 (H25.9/1-10/28)



試験目的

遮光資材の効果比較試験

試験作物
及び品種

ミニトマト

試験資材
及び数量(規格)

クリンテートSK(0.1mm×1110(185+740+185)cm×92m)
カゲナシ5(0.1mm×1110cm×92m)

慣行資材

遮光ネット「涼感ホワイト#30」(800cm×87m)

栽培方法

定植日

慣行区:5月2日
試験区:5月2日

資材使用期間

4月下旬～10月下旬

試験区面積

520㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

カゲナシ5よりもクリンテートSKの方が柔らかい感じがしたが、慣行区、試験区とも作業性に問題はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

カゲナシ5は『花とび・葉やけ』が発生した。
クリンテートSKでは『花とび』の数は少なかったが、春先の温度が必要な時期には少々温度が足りない気がした。

慣行資材については問題ない。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：夏場の遮熱性はクリンテートSKの方が勝っていた。

【問題点】：春先の温度が必要な時期には少々足りない気がする。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

試験区の方が柔らかい感じがしたが、耐久性、については問題なかった。

(5)促成・抑制効果について

春先はクリンテートSKが徒長傾向にあった。
だが、夏場には回復し最終的には、クリンテートSK>カゲナシ5になった。

(6)保温効果について

クリンテートSKは春先の温度確保がむずかしく不安に思っていたが、夏場には回復してきた。生育はむしろクリンテートSKの方が良かった。

温度計を設置し測定を行ったところ、クリンテートSKの方が1℃以上温度を抑制していた。

測定温度による温度抑制順として、クリンテートSK>涼感ホワイト#30>カゲナシ5であった。

(7)雑草・病害虫の発生について

差はなかった。

モニター感想

ハウスに入った時の体感温度はクリンテートSKの方が涼しく感じた。

クリンテートSKは春先には徒長も見られ不安だったが、最終的には回復できた。

JA担当者の感想(資材推進課 丸谷係長)

夏場の遮熱効果は確認できたので、使用時期、作物によっては有効な資材だと思う。

クリンテートDX、FXと同価格で、遮光ネットを使わなくてすむのならば、コスト削減や、作業軽減につながると思う。

今後の使用について

継続して使用したい。

春先の温度確保が課題となるが、作物によっては普及するのではないかと思います。